

支部だより

西郷 I 支部役員会



10月9日(金) ペンション西の郷にて西郷 I 支部役員会が開催され3人の役員と事務局が参加しました。支部長あいさつの後、藤田副会長が司会を務めレジメに沿って話し合いました。班会開催の提起をうけ、署名・アンケートの取り組みをどのようにして全会員にあたるか真剣に話し合われ、会員には新聞のルートで下し役員が中心になって回収することを確認しました。会員拡大については対象者をあげ声かけようと話し合いました。また、11月1日のグランドゴルフ大会には1チームで参加しようとメンバー表も作成しました。

矢吹東支部役員会



9日(金)、矢吹東支部は大伸工業そば屋にて役員会を開催し、4人の役員と鈴木清文副会長が出席しました。班会開催の意義についてみんなで話し合い、税務調査の対応学習があらためて必要ではないか、会場はどこにしようか、少し早いかもしれないけど計算会の話もしよう、など議論しながら10月下旬から11月中の開催を目指して班長・会員で調整することとしました。そのほかグランドゴルフ大会、共済一泊学習会の参加について話し合いました。

三神支部役員会



10月8日(木)に三神支部役員会が祭りで開かれ、9人の役員と佐久間副会長が出席しました。秋の運動と班会について話し合ったほか、11月1日のグランドゴルフ大会は2チーム参加を予定しています。

る痛みや苦しみの証人として啓発活動を行い、核兵器の拡散と使用に対する切実な警告を通して数十年間にもわたり世界中で反核運動を生み出し、平和への希望に尽力してきた功績がノーベル平和賞受賞につながったことを紹介しました。今、軍事同盟から遠ざかる非同盟国が激増し、核兵器廃絶の取り組みと非同盟運動は密接に結びついていること。物理学を研究してきた講師は核兵器と原発は被曝が共通で放射能、放射線は生命と相いれないことを学問と科学の到達を判断の基礎にすべきと訴えました。「平和な未来を子供たちへ」の思いを共有し、活動のパワーにつながる大会になりました。



10月11日
第68回福島県母親大会
第31回いわせ母親大会

10月11日(日)、第68回福島県・第31回いわせ母親大会が須賀川しんきん文化センターで開催され、婦人部員10名が参加しました。「核兵器も戦争もない世界めざして」と題して日本被団協ノーベル平和賞授賞式行動に参加した小林立雄さんの記念講演を聞きました。日本被団協が自らの体験を語り核兵器の非人道性・核兵器がもたらす想像を絶する

婦人部領収書会



13日(火)、婦人部主催の領収書整理会に11人が集まりました。会計ソフトを新しく導入したため四苦八苦しながら、教え合い励まし合いながら進めました。途中コーヒータイムを挟んで11月の婦人部行事の紹介や全婦協総会の話でほっと一息しました。



平和な世界を未来に託して

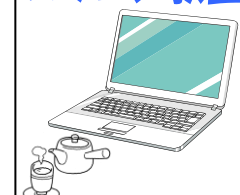
白河民商

発行所
白河市天神町28
白河民商五会
TEL(27)3161

毎週発行

白河民商URL
<http://www3.ocn.ne.jp/~shiramin>
メールアドレス
shirakawa-minshou@
isis.ocn.ne.jp

好評開催中!
パソコン教室



11月12日(木)午後4時から
『無料法律相談』
独りで悩んでいませんか?

希望者の方は、事前に
白河民商までご連絡を

